



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	特講 2
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1957-06
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77308
Type	manuscript
File Information	K014_012326.pdf



NOTE BOOK

MADE OF FINEST PAPER PREPARED IN TOKYO

特請

昭和三十一年六月



王子製紙春日井工場特選紙使用

新星ノート

④

氏等の教育に於ける全權化の
程度に於ける相違の中に、都市
と農村の相違のあり、近代
な生活態度と前近代的生活
態度の別が見えて来る。

⑤ 都市の文化は、成文化されたものであるが、農村の文化は、未成文化である。農村の文化は、都市の文化に比べて、未成文化である。農村の文化は、都市の文化に比べて、未成文化である。

これは、都市の早い、農村の遅い、という、
か、
農村の文化は、都市の文化に比べて、未成文化である。農村の文化は、都市の文化に比べて、未成文化である。

要決定は、
この国は、
ある。借り、
と云ふ、
である。借り、
国は、
恩義を、

さわ。

中よりよつて決着す。要は

仇は復讐しよつて原状す。

あ、他代物に比しにばそれ等の

要決着の關係は決着の

す、の物然にありものなり。

親父子等の關係は親子の關係

親兄弟等の關係は兄弟の關係

の物然にありものなり。

現本人の親類等とて人の親

類を支配す。

此れははかこの如き決着の關

係は、家と家の間、人と人の

⑥ 思ふをきかへるゝな^がい居、同
 仔、うらみをきかへるゝ事、報復
 しな^いで、片の同位が村落の死
 介にはみち^へ片^へ。かくの如き事
 決着の同位は村落の面接的
 状況にのみありは^らない
 感情が強く^い配^はつて居る
 であ^らう。

同を強ぐす配してふよ。◎
 都市の生活では書決済の
 此然の相手は机座に終焉すれ
 合現化されて片よ。壹買の固
 仔は其の代表的なものである。
 自是自残の強かつた御おは
 生法の中をい過不足ある其令に
 は多々情みそれを用おしては
 片に^{重宝にふた}なる^{そこには}未決済の此然
 が^{重宝にふた}ある^{重宝にふた}様子が^{重宝にふた}表露した
 であらうな。都市の生活では
 自是自残が^{あり}有るに^{あり}文に^{あり}生活の

は甚だ多く、

けるもの、過不足の調整の為に交換

の新入は競争せよとをわらうた。

競争の制より今現が支配する

同様に競争したのであらう。

都市に未決の同位も存する。

のてはあふけれと、やくと、^{日常}生活

の必要に因しては、今現は合理的な

高買入による競争に秩序を保つ

く、ある、^{一般に}格に格下、^{一般に}格上、^{一般に}格下、

芸術に人的な同位が支配的、

より都市に人的な今現が

支配的であるのは、^{必要に}必要に

都市に必要に

とある。

民の都市には合戦の力が人
 と人との間に調整の力がある
 である。人は互の長いつ
 史的経験の中にある。この
 ためである。貴族の合戦はかくし
 ておこなう。要決定の力
 がある。縮した合戦の制である。
 貴族の代に貴族の思や
 仇の代に代る。未決定の力
 である。親方の思は子供には
 一見未決定と取りなされ、
 子供

の上立つ制である。行は
 直接的
 必要決定の力は直接的に
 に決定し、未知の人の間に
 する。未知の人は、未知の
 都市の生活は、後の事
 には、未知の人の間に
 未知の人は、未知の人の
 未知の人は、未知の人の
 未知の人は、未知の人の

第三章
都市の発展

空間的秩序

十月十日 漢文

の一生の生活を支配して居る。

東京の洋行は氏未済の国住を基

礎として様々の上下国住に於ける道

徳事か出来て片は。我々分子の

於ける善現は是のつてあり。我子

の同住に於ける孝も我の思は

海よりいふに於けることあり。我子

して天の未決済も解能に於ける

と能くをせしめたることあり。

それ等の時々の秩序は皆持續的而

協的秩序に於けることあり。我々

である。現代都市に於ける時々の秩序

は我々の生活がそれによつてある。成るものには生活がそれによつてある。成るものには生活がそれによつてある。

次に都市に於ける空間的秩序

として考察しね。ものは三種の生

活地区や都市をとりまく各種

の地区の地域性に認めよう

か。とある。

三種の生活地区とは

第一生活地区と名づくものは

都市住民が

日常の生活に必要な物資やサービスを受ける

ための生活地区である。かくの如き

地域の中心にはそれ以上に多くの人口が

集中する。此地域は世帯毎に

異なる。地帯の上に形成されるもの

を形成するものがある。

◎ 商業者はその顧客と契約をむすんで
 片は深いおれりにも物さす一つの商売
 におけるはたの顧客の数が大抵一定して
 片はとあるうちは、買手も買手も買手も
 買手も偶然の集積でたのものがあす
 ものであらう。買手も買手も買手も
 生活の秩序を導くは生活の秩序の
 安定固定を必要とする。

下はなつて都市の発展がなされる
 もつてより認めね。地這である。
 かくの如きものがある。居ればこそ
 しかるべきもの。商業やサービス業の
 の施設も一定の規模に固定して
 かくの如きものはその場の場
 か。考へればフレートエリヤ又はサービス
 エリアと云ふべきである。都市の
 発展はかくの如き第一生活の場が
 しつと、なかりあいな。事業の発展
 片は一つの全体を形成して、
 ほか、経済として、都市の
 自然

自然近隣と行政近隣

自然近隣は半半後の連続

行政近隣(土地の集束)は並列的

強と弱の

認めしる根拠と有り様も然し

同様のうは自然近隣について

云々云々云々云々云々云々云々

に於ける我々我々我々我々我々

乃至生活地云々云々のほその都を

に於ける中心街を形成して云々云々

同様の高層やサービス云々云々

片の範域云々、その都を包

むる其の都の都の都の都の都の

ランド云々云々云々云々云々云々

高層云々云々云々云々云々云々

世界帯の例より見れば、最高

孫の爲にサードを準備する。あ
に五二に因行をたつところて、そこへ行
く態度は少い。

の商店やサード
機因

才二生活地区は、^{その中へを穿つ}才一生活地区
と才五生活地区との中間にある。

新都心の性格を、^{高層ビルが}その特徴である。

これは都市である。親近感増大した

ところのみに見られる、れよものては

あ。か、かくの如き性格はわ都市に

あつて、いし全然おしやうはない。

形である。都市が大きくなれば才二

生活地区の思想が、ヒンターランド

高層

都市内のあるゆる世帯が
ついでにわかれあ
るべき生活地区の中
にありあつた場合

多うであらう。

的を

固定した

右の如き三つの生活地区は各自

一定の地域形成して居る。その

固定した国体の期待の上に

構図の中に於ける活動の規模と

固定する。その結果として、ありゆる活動的要素地域的な

秩序とあるはである。のみならず四角やその側面もかくの如き期待の上に生活の設計を施して居る。

人の生活はより定まり、一定の地域

都市及び周辺の
を多量して行はれ、の構図になく

都市に在する各種施設は未だの

る各店の店頭に於ては、はハートに

⑤ 以上の五種の社会圏は何れも都市圏の機能の中心として形成されるべきものである。

此の圏が固定して居るのは都市圏である。他の圏がそれと異なる。

これは都市圏の外部の人々との関係である。都市圏の外部の人々との関係は、都市圏の内部の人々との関係とは異なる。

同様の秩序上の秩序を結果として得ようとする。

同じような同じような、共同と共同で、
同じような同じような、共同と共同で、

そこに集まる人の数は、
そこに集まる人の数は、

も著しく異なるとはなつ。その
も著しく異なるとはなつ。その

同化する。地域の上に固定したものは、
同化する。地域の上に固定したものは、

がある。かゝるものである。
がある。かゝるものである。

次に都市圏の周辺に在るものは、
次に都市圏の周辺に在るものは、

か同化する。これは都市圏の周辺に
か同化する。これは都市圏の周辺に

は次の五つの社会圏の形成によるものである。
は次の五つの社会圏の形成によるものである。

と考へてみる。

第一都市生活圏
第一都市生活圏

第二都市生活圏
第二都市生活圏

第三都市生活圏
第三都市生活圏

第四都市生活圏
第四都市生活圏

第五都市生活圏
第五都市生活圏

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

共同と共同で、
共同と共同で、

一 空間的秩序をもちにして行はれたい (都市の発展)

空間的秩序とは、これは大げさな話だが、
人の生活が、地面の利用を立休れを造
り、^{この}土地、地域の平面的な生活になつて
行く。空間的秩序を造る。かゝるもの。

この分は、社会的な秩序の操作には
甚だ都合よい分だ。また、社会生活
に於ける多面的な価値は、多々ある。

二 様相の表現

三 都市的機能の表現

四 現代都市は、都市機能の

あつたところ

五 機能と人との関係の図化

人々との関係は、社会的
人々との関係は、感情的

三頁
田舎

田舎

都市の分類

其の都市分類は都市に依りて空間的秩序

をもとにして作れ分類である。人口規模に

もとづいて試みられ人口は経済的都市及び

都市の機能の別

産業の地域別に分けられ経済的都市

分類に對して都市の社会関係における空間的

的秩序をもととして試みられ都市分類

あり。都市の社会関係の秩序を以て次の二つに分

けられ都市の機能と人口とを以て分類する

一、その要素は人口と機能とである。機能と人口とを

別とせしむるが要素は人口と機能とを以て分類する

必ずしも。豊後村都市の中にあるもの

等や、市などがある。場合、一般に都市

とは考へられなへ都市の存在である。

然しそれは高きや廿一と機回を全分有し

ない紙巻漢字落とは最落の果しとある。

二、その夏落はるにあ。機回の高きや廿一

口か、その夏落はるの外部の一定地域内

の位置に圖が及ぶもの。而してその間が地

域内には前項の都市的存在及び^地界線

民落を含むものである。農村市街地が

これにあふ。而してインターランドの存在も

のて、こゝは高き群落、後場、新し家、小中

が程組合より本が存する程のもの。

一般にこの程は近い都市的存在以上を

都市と考へて居る。

金融業は九種の外

紙幣

都市の地位

商店

都市

市街地

田舎

都市

中都市

大都市

田舎 - 美濃 - 名寄 - 旭川 - 札幌 - 東京

孤立商店 - 商店群集 - 田舎の ~~地方都市~~

都市 - 中都市 - 大都市

三、その国が地域内、前記の曲がる街

地（二ヶ所以上）を含むもの（九種以上の

少なくとも

都市機能の集合に於けるもの。即ち、

都市と老へ得るもの。

四、商店又はサービス、其集積に及ぶ

そのセンター・コントロールは全然又は強固に

おしなう、特、同の二種以上存在するもの。

即ち金口又は金世界、市、^場販路を得る

民、高名の製造工場や販賣場、同

の存在、その中、都市と云い、その

五、その都市と中心としてその周辺に多数の

中、都市が連なるとして、地域的統合を形成

成しその統一の中ル各都市^{の同}新に必要の
な特殊機能を生じて行くもの。この中、都市
が大都市である。中心の大都市と其周
圍の中や都市が連^環して形成す地域的
統一の統一は全く新しい型の地域的統一
の統一としてそれを古ちに都市と呼ぶには
同じである。

（これは都市生活
における必要機能）

右の五種の都市形態は都市とその外周^{（外周）}
の間に生ずる空間的秩序をもとにして
行はれた都市の形態である。この多様
は都市の社会的経済的構造の操作の上には
有用な用果である。

このあとに機関論のなか

一機関のなか

二社会的機関のなか

三、大きな社会的機関のなか

現代都市

四機関と人との関の四種の

同化。機関と人との関の五種の

は合理的 人と人との関の五種の

は愛情的、機関と人との関の五種の

は合理的 人と人との関の五種の

他も合理的

一 都市の機(五)の心は支配を食ふ
ものなるもの支配は採取を伴つて
来た在来の増(五)